



## 金環日食に伴う登校時間の変更について

5月21日(月)の早朝、全国で「金環日食」という非常に稀な現象が起こります。本校の位置はNASAの予測した北限界線から南ですので「金環日食」が見られることとなります。

本校学区で見られる日食の始まり時刻は7時37分42秒、日食の最大が7時38分18秒、日食の終わりが7時38分53秒の予定で、金環日食継続時間は1分11秒間です。

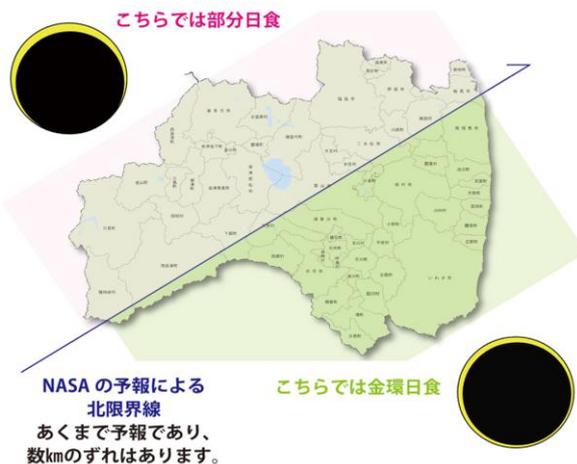
この時刻は丁度、児童の登校時刻と重なり、登校途中に何の対応もなく日食を直接見上げることになるため「**直接、太陽を見ることによる日食網膜症への危険性**」や「**交通事故の危険性**」などが懸念されます。

したがって、本校としては以下のように対応いたしますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

- 1 児童の集団登校をいつもより30分間早くします。  
(7時10分ごろまでには学校に到着するようになります。)
- 2 担任の出勤を1時間早めて7時10分とし、児童に適切な指導のもとに日食の観察をさせます。  
専用の日食グラスや遮光プレートは学校が児童分を用意します。
- 3 当日の下校時間は、学年ごとに連絡します。
- 4 21日(月)が確実に日食観察のできない悪天候の場合は、5月18日(金)の時点で、通常の登校となることを連絡いたします。

なお、郡山市ふれあい科学館スペースパークのホームページの【天文現象紹介】2012年5月21日金環・部分日食 in ふくしまに「危険な観察方法」「福島県内での日食の見え方と限界線」などが載っていますので参考にしてください。(本校HPからもリンクしています。)

国立天文台によると、金環日食は世界のどこかで平均、年に1回ほど起きているが、観測できる地域は限られる。日本の本州で起きるのは129年ぶりで、今回のように広い地域で起きる次の金環日食は300年後だということです。ちなみに6月6日には、これまた大変めずらしい金星の太陽面通過の天文現象もある、とのこと。



## 資源回収、お世話になりました



5月13日(日)の資源回収、お世話になりました。たくさんの資源物が回収されました。お天気に恵まれ、よかったです。筋肉痛、大丈夫でしょうか。資源回収のあと、伊藤PTA会長さんと校長・教頭で通学路の放射線量を測定しました。学区内25箇所を測定しました。後日、整理して本校ホームページ等でお知らせしたいと思います。

